



# 余土地区まちづくり通信Vol119

令和3年1月1日発行

〒790-0044松山市余戸東4-4-34

☎090-8979-4101

HP:www.yodo-machikyou-net

メール：yodom4010@gmail.com

## 新年のごあいさつ



余土地区まちづくり協議会  
会長 今田 紘一

### 謹賀新年



昨年は、新型コロナウイルス感染拡大で全世界が未曾有の体験をし、拡大傾向に未だその収束の兆しも見えていません。各種活動も制限され、中途半端な結果となり、皆さんにおかれましても仕事や家庭でもその対応に追われ、不自由な生活を余儀なくされていることと推察いたします。

さて、今年は余土地区まちづくり協議会としても、過去10年間の活動を評価し、当協議会の活動テーマである「みんなで創る元気で住みよい余土のまち」に向け、今後10年の若手も参画したバランスのとれた「まちづくり計画」の策定をする節目の年でもあります。

この様な中、余土地区の懸案事項の余土中学校跡地活用で、松山市役所余土支所の「建設移転」が残っています。現在の余土支所は、車の出入りも不自由であり、また、交通事故発生の懸念もあるため、一日も早く余土中学校跡地へ建設移転し、公民館・余土支所・福祉施設等の余土地区の活動拠点として、活用されることは余土地区住民として切なる願いであります。

新年を迎えるに当たり、今後とも行政・学校・各種団体とも協議を重ね、新型コロナウイルス禍の制限はありますが、前向きな展開を目指しますのでご支援の程宜しくお願いいたします。

また、余土地区まちづくり協議会では、余土の史跡・句碑等を掲載した「余土ぶらっと見て歩き」の発行や「余土の風景絵はがき」（令和2年度は「花のある風景」です。）の作成など余土の魅力PR事業に取り組んでいます。「余土の風景絵はがき」は8枚セット150円で販売していますので、親元を離れて都会で暮らすお子さんやお孫さんへの便りとして、また、古郷を離れて暮らす同級生との消息用のはがきなどにご活用をお願いいたします。

最後に、新型コロナウイルス禍の一日も早い収束を願いつつ、よい新年を迎えられることをお祈りいたします。

**余土を知ればもっと余土が好きになる！！**

**「第3回余土検定」 開催！！**



余土地区まちづくり協議会では、「余土の魅力づくり」事業の一環として、余土に関する100問（小学生は50問）に挑戦する「第3回余土検定」を12月13日（日）に余土公民館大会議室で体温チェックや手指消毒や一つの机に一人とするソーシャルディスタンスの確保等の新型コロナウイルス感染防止対策の中での開催となりましたが、10名の参加がありました。その中で、今年初めて余土小学校5年生の児童の参加があり、50の問題に挑戦していました。

試験の結果は、受験された皆様全員にハガキで1月10日頃に通知されることとなっています。

### 「第3回余土検定」ものしり博士認定式 開催案内

12月13日（日）に行われました「第3回余土検定」を受けた方で合格点を取得した人に対し、「余土ものしり博士」の認定証を交付する「認定式」を下記のとおり開催いたします。

日 時 令和3年2月7日（日）10：00～11：00

場 所 余土公民館 大会議室（2階）

プログラム（1）「第3回余土検定」試験問題の解説

（2）「余土ものしり博士」認定式



## 第9回「ふるさと余土学」開催

「一粒米の会」（会長：森二郎さん）では、12月6日（日）に「第9回ふるさと余土学」を余土公民館大会議室で開催しました。

今回は、盲天外が32歳で視力を失ったことから、視力を失くした盲天外の苦労を少しでも知ろうと視覚障害について学ぶことが目的で開催されました。講師は、愛媛県立松山盲学校同窓会の神野一志会長で、「視覚障がい者の体験と現状について」をテーマにして約1時間30分の講演がありました。

講師の神野先生は、越智郡大西町の出身で4歳頃に失明され、昭和31年に松山盲学校に入学しました。その当時は盲学校の先生が不足しており、当時の校長は、盲目の子供たちを真面目に教えてくれる人材を探していた。また、先生方は、視覚障がい者以上に視覚障害についてよく知っていたので先生を信頼することが出来たということでした。しかし、昭和50年頃から先生の一般学校との交流が盛んになり、3～4年で異動する先生が多く、生徒と先生との信頼関係が薄らいでいったそうです。盲学校に入学し、寄宿生活となったとき、物を置く場所は定位置に決めて、家族の者や他人に触らせなかった。また、自分のことは自分ですることが基本で、小学3年生から洗濯（タライと洗濯板）は自分でし、6時30分には起床し、雑巾がけをする生活を過ごし、今思えばいい経験となった。盲学校を卒業後東京教育大学（現筑波大学）に進学のため、上京し、これまで行動は誰かと一緒であったが、都会の学生たちはどんだん一人歩きし、行動力のすごい人が多かったため、自分も一人歩きするようになり、行動範囲が広がった。東京から帰郷時の宇高連絡船での乗り換えが一番の苦労であり、その時に、最後は人をお願いした。社会には親切な人がいっぱいおり、その人にとっては一生1回のことではあるが、障害当事者にとっては茶飯事のこと、生きていくためには人に頼るしかないことを学んだとお話が印象に残りました。

また、現在の生活の中での苦労話をされましたが、印象に残った話は次のとおり。

○急に「危ない！」と声かけてもらっても、意味が分からないので、「白杖を持っている人、危ない」とか何がどのように危ないかを言ってほしい。

○いい服、いい靴がもったいない。すぐ汚したり、傷つけたりするのでブランド品はもったいない。

○駅弁の幕の内弁当を買って食べると、魚型の醤油さしやバランを口に入れたりしたので、次からはサンドウィッチにしたこと。

○魚は食べにくい。時に骨の多い、メバルの煮つけ、太刀魚は苦手である。

○洋食についているコーンはつかみにくい。

○男子小使用トイレは、どこが空いているかわからず、気配で空いているところを探している。

○様式トイレは便利だが、説明を書いている点字を探すのが難しい。

などなど。視覚障害当事者の目線でのお話を聞きながら、盲目となった盲天外の苦労と人並外れた精神力のすごさをあらためて感じる事が出来たお話でありました。



## 余土子育てサロン ～クリスマス会～ 開催！！

12月19日（土）に余土公民館で余土地区社会福祉協議会と余土公民館との共催の「クリスマス会」が開催されました。これまでは「もちつき大会」も同時に行っていましたが、今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とし、クリスマス会だけの開催となりました。

クリスマス会の最後にはサンタクロースが登場し、新型コロナウイルスの世界的な感染爆発でサンタが来ないかもしれないと心配している子どもたちに、「サンタさんには新型コロナウイルスに対する免疫があるからプレゼントがあるよ」とプレゼントを受け取っていました。またサンタさんは「免疫はあるけど1mの距離をとることが重要で、本番のクリスマスイブの日は保護者の言うことを聞いて、早く寝てください。」とお話がありました。



## 「レクレーションバレーボール大会」・「ドッジビー大会」 中止

令和3年1月17日（日）に開催予定の「令和2年度余土地区レクレーションバレーボール大会」と2月21日（日）に開催予定の「第15回余土地区ドッジビー大会」は、ともに新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から中止することとなりました。

今年度は、5月の余土地区総合運動会をはじめ、グラウンド・ゴルフ大会、スマイルボウリング大会をやむなく中止しましたが、その後、新型コロナウイルス感染防止策を講じた上での実施が可能となったことから、青壮年ソフトボール大会とペタンク大会は実施することが出来ました。しかしながら、11月後半からの新型コロナウイルスの感染が拡大する状況となったため、このような結果となりました。今年度の公民館体育事業は結局2種目のみの実施となりましたが、来年度には再び多くの方が参加していただく大会が出来ますように引き続きのご支援をお願いいたします。



## 「余土子どもなわとび大会」中止！！

令和3年2月28日（日）に開催予定の「余土子どもなわとび大会」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止することとなりましたのでお知らせいたします。



## 第5ブロック公民館循環図書用12月新刊図書

第5ブロック公民館（余土・生石・味生・垣生）の図書室に置く循環用の図書として下記の図書を購入しました。しばらくの間は、余土公民館図書室の「第5ブロック循環用図書コーナー」に置いてありますのでご利用ください。

図書名 (著者名)	図書名 (著者名)
いつもいっしょに (こんの ひとみ)	てぶくろをかいに (新美 南吉)
おしっこちょっぴりもれたろう (ヨシタケシンスケ)	しんごうきピコリ (ザキャビンカンパニー)
ハーブで楽しむ庭でくり (東山 早幸子)	パッチワーク教室2020-2021年冬号(ブティック社)
ぼうは犬や (ペク・ヒナ)	自分を楽しむ衣食住 (奥平 眞司)
志麻さんのプレミアムな作りおき (志麻)	フライパン煮込み (若山 曜子)
みんなの丁寧な暮らし日記 (みんなの日記編集部)	えんとつ町のプペル (にしの あきひろ)
EARTHおじさん46億才 (藤原 ふろのぶ)	10歳から知っておきたいお金の心得 (八木 陽子)
世界一やさしい「やりたいこと」のを見つけ方 (八木仁平)	10かいだてのおひめさまのおしろ (にはな はるか)

## 「余土公民館利用団体作品発表会」開催 ご案内

11月に開催予定だった余土地区総合文化祭が新型コロナウイルス感染拡大により中止となったことから、公民館としてもなんとか発表の機会を設けることは出来ないか検討した結果、新型コロナウイルス感染防止対策を講じて、出展を希望される団体を募集して「余土公民館利用団体作品発表会」を実施することとしたところ、参加する団体がありましたので、下記の日程で開催することとなりましたのでお知らせいたします。

なお、新型コロナウイルス感染防止対策を講じて実施いたしますので、来場の際にはマスクの着用、また、体調不良の方は来場をご遠慮していただくなど感染防止にご協力していただきますようお願いいたします。

開 期 令和3年2月1日（月）～2月7日（日）  
 開館時間 10：00～15：00  
 会 場 余土公民館小会議室（松山市余戸東4丁目4番34号）

## —余土の魅力PR事業のお知らせ—

「余土の風景」絵はがきシリーズ 第2弾



### 「花のある余土の風景8景」絵はがき 販売開始！！

見慣れた余土の風景を「絵はがき」にする第2弾として、地域の皆様方から写真を募集しました「花のある余土の風景8景」が出来上がりました。親元を離れて都会で暮らすお子さんやお孫さんへの便りとして、また、古郷を離れて暮らす同級生との消息用のはがきなどにお買い求めの上ご活用ください。

余土の風景絵はがき（2）

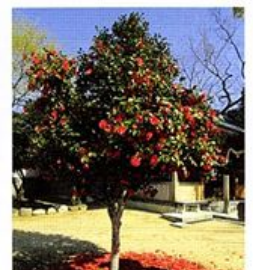
「花のある余土の風景8景」

絵はがき 8枚セット

内容

- ① 石手川に咲く菜の花
- ② 坊っちゃんスタジアムとハナミズキ
- ③ オレンジの電車とつつじ
- ④ 一里塚とガザニア
- ⑤ 素鷲神社の椿
- ⑥ 素鷲神社に咲く彼岸花
- ⑦ 保免中交差点の花壇
- ⑧ さくら小学校とさくら

販売価格 1セット 150円



《絶賛販売中》

#### ★余土ぶらっと見て歩き★

余土のことをもっと知りたいと  
思う方の必携ガイドブック

大きさ A5版

ページ 64ページ

内容 神社・仏閣 句碑・石碑 史跡  
橋 駅 公共施設 河川  
道路 余土の木・花  
余土村歌 余土の昔の道 余土村の歴史  
歴代余土村長・助役 地名の由来

販売価格 300円

#### ★余土の風景絵はがき

—重信川と石手川が流れる町—★

- ① 重信川渡し跡と出合橋
- ② 出合鉄橋を走る伊予鉄電車
- ③ 残光に映える出合橋
- ④ 悠々と流れる重信川
- ⑤ 松山外環状道路から望む石手川
- ⑥ 出合橋と旅立ち
- ⑦ 石手川と愛媛県武道館

販売価格

1セット 150円

【販売所】 余土地区まちづくり協議会  
松山市余戸東4丁目4番34号（余土公民館内）  
【販売時間】 月曜日～金曜日 9：00～12：30